



君に、幸せあれ！

校長 高橋 祐二

春の麗らかな陽に照らされて、180名の卒業生が学び舎を巣立ちました。心から、卒業生ならびに保護者の皆様、開志国際高等学校の卒業、誠におめでとうございます。当日、卒業生の逞しく成長し、凜とした姿がとても心に残っています。これから、自分の新たな進路に向かうわけですが、本校の教育目標である「志を持って未来を切り開き、地域社会・国家・国際社会のリーダーとなる人間」として活躍されることを期待しています。

さて、卒業式では、次のようなことを述べさせていただきました。

みなさんは、これまで、一人一人が本校の教育目標である「志を持って未来を切り開く」のもと、自分の夢と目標をもち、その実現のために努力してきました。そして、数々の成果を成し遂げ、開志国際高等学校の名を県内外にとどろかせてくれました。まさしく、本校のキャッチフレーズである、「夢・挑戦・感動」を実践してくれました。みなさんの活躍を誇りに思うとともに、心からお礼を述べたいと思います。

さて、卒業するみなさんへ、ある日の出来事を紹介し、私からのメッセージを伝えたいと思います。

昨年のある日の出来事です。誰のシューズかわかりませんが、生徒玄関の下駄箱の下に置いてあったシューズが乱れていました。3年生のA君が、4時間目の体育の授業を終え、校舎に入ってくるやいなや、その乱れていたシューズを見かけ、そっと拾い上げ、廊下の片隅に揃えている姿を目にしました。私は、その光景を目にした時、この何気ない姿こそ本校の求める生徒の姿だと思ったのです。本校の生徒には、自分の夢や目標をもち努力し、これからの社会で生きていく力を見つけて欲しい。そして、世のため人のために貢献できる人間として成長して欲しいと願っています。まさしく、A君のとった行動は、人として当たり前だったかもしれませんが、人の靴を並べるといえることは、簡単にできることではありません。これからの社会で求められる人間は、自立し逞しく社会を生き抜いていく人間であるとともに、A君の姿で見たように、何気ない日常生活の中で、人の気持ちを考え、人の心に寄り添える心優しい人間であることが、世のため人のために貢献できる人間の条件だと思います。みなさんは、この3年間、学業やスポーツ、行事などで全国各地、海外からの仲間と切磋琢磨する中で、仲間と助け合い、人の心を思いやる心優しい人間へと成長してくれました。是非、これからの人生も自分の夢と目標をもち挑戦して、世のため人のために貢献できる人間へと成長することを願っています。そして、みなさんが、ここまで成長できたのは、自分自身の努力もさることながら、みなさんのことを一番心配し、支えてくれた親の存在を忘れないでください。そして何よりも、みなさんが健康で、これからも活躍していくことが、これまで育ててくれ応援してくれた親への、また、お世話になった方々への恩返しであることを忘れないでください。

中略

最後に卒業するみなさんへ、歌手の長渕剛さんの「乾杯」の歌詞を送ります。

「乾杯！今君は人生の大きな大きな舞台に立ち 遥か長い道のりを歩き始めた君に幸せあれ！」

今年度も、保護者、地域の皆様におかれましては、本校の教育活動におきまして多大なるご支援とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。4月からの新年度がスタートしますが、「生徒も教職員も行き甲斐(生きがい)のある学校」を目指し教育活動を推進して参ります。これからも、どうぞご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

第9回卒業証書授与式を行いました

3月1日(土)、第9回卒業証書授与式を行いました。第9期生180名が、大きな『志』を胸に新たな旅立ちを迎えました。これからも、新しいステージで夢を持ち続け挑戦するみなさんを心より応援しています！



在校生送辞：山川 綺月さん (医学科進学コース2年)

先輩方は、開志国際高校での3年間を通して、勉学や部活動、生徒会活動など、様々な場面で輝かしい足跡を残されました。私たちはそんな先輩方の姿を追いかけ、憧れ、時に支えられながら歩んできました。厳しい練習の中でも、決して諦めず最後までやり遂げる姿は最高のお手本でした。私たちも先輩方のように成長し、この学校をさらに素晴らしい場所にしていくことを誓います。



卒業生答辞：奥村 美咲子さん (国際アスリートコース3年)

私が出会い、共に成長した仲間は、自分には無い物事の見方や考え方を持っている人たちでした。ここでの出会いと思い出は、一生の宝物です。私たちは今日をもって学び舎を巣立ちますが、ここからは、それぞれ新たなステージへ旅立ち、新たな目標や夢に向かって、また挑戦の日々が始まります。開志国際高校卒業生としての誇りを持ち、一步ずつ前に進んでいきます。



寮ライフ潜入！前編

勉強や部活動で日々忙しい生徒達。普段、寮でどんな暮らしをしているのか調査しました！

開志国際高校 生徒寮



学校から徒歩で2〜3分！
生徒の約8割が寮で暮らしています。

男子バスケット部



北村 優太さん
(アスリートコース2年)

北本 慶志さん
(国際アスリートコース2年)

平良 奏龍さん
(国際アスリートコース2年)



先輩からもらった
スピーカーでカラオケ

寮での過ごし方

- ・部活動が無い日は、ウエイトトレーニング
- ・お風呂に入る前に筋トレ
- ・プロジェクターで壁に画面を映して、みんなで映画鑑賞
- ・周りに迷惑にならない程度にカラオケをして盛り上がる



思い出の写真や推しを
飾っています



寮での過ごし方

- ・金曜ロードショーを見るのが楽しみのひとつ
- ・少女漫画を読む。おすすめは「うるわしの宵の月」
- ・小テストがある日は、朝学校に早めに行って勉強！

女子バスケット部



樋口 碧さん
(国際アスリートコース1年)

小暮 莉瑠さん
(国際アスリートコース1年)

陸上競技部 女子



今成 華琉さん
(アスリートコース1年)

田内 紗菜さん
(国際アスリートコース2年)

寮での過ごし方

- ・部活動でたくさん脚を使うため、寮に帰ってから、コロコロでケアを1時間している
- ・休みの日は手芸をしたり、たまに新潟市に遊びに行ったりする



かわいい小物コレクション



陸上競技部 男子



中島 幹太さん 小林 美波さん 椿 瑠偉音さん
(アスリートコース2年) (アスリートコース1年) (アスリートコース1年)



部屋の乱れは
心の乱れ！

寮での過ごし方

- ・3人でよく集まっておしゃべりやゲーム
- ・カードゲームの「ナンジャモンジャ」をたまにする
- ・部活動の練習日記を書いて、1日の反省をしている

大会結果まとめ

ラグビー部



2/16(日) 第27回北信越高等学校新人大会

【代表決定戦】

開志国際高校 VS 富山第一高校 19-5で勝利!

全国選抜大会への出場が決定!

卓球部



2/14(金)~16(日)

第64回大阪国際招待卓球選手権大会

【ジュニア女子 部門】

平澤 未来(アスリートコース2年) 2回戦敗退

スノーボード部



3/1(土)

JOCジュニアオリンピックカップ
2025全日本ジュニアスキー選手権大会

【スノーボード競技 ハーフパイプ種目】

男子2位 杉崎大翔 (アスリートコース3年)

女子5位 上村海音 (アスリートコース2年)

3月の大会予定

柔道部	全国高等学校柔道選手権大会	3/19(水)~20(木)
ゴルフ部	全国高等学校ゴルフ選手権春季大会	3/19(水)~21(金)
卓球部	全国高等学校選抜卓球大会	3/20(木)~23(日)
ラグビー部	全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会	3/23(日)~31(月)
男子バスケ部	KAZUカップ	3/25(火)~27(木)
スノーボード部	第31回 全日本スキー選手権大会	3/29(土)~30(日)



1学年がスキー授業を行いました



2/25(火)～26(水)、ニューグリンピア津南で1学年がスキー授業を行いました。普段の学校生活とは一味違った貴重な経験となりました。2日間でスキー技術がどんどんレベルアップし、充実した時間を過ごすことができました。



高体連スポーツ年間最優秀賞に選ばれました



「令和6年度新潟県高等学校体育連盟スポーツ年間最優秀校」(男子)に選出されました！2/28(金)に、新潟県高等学校体育連盟さまより賞状とトロフィーの授与がありました。男子は4年連続7回目の受賞となりました。これからも開志国際高校の活躍にぜひご期待ください。



「総合的な探究の時間」全体発表会



胎内市観光大使の「やらにゃん」が、発表を見守っていました。

2/21(金)5～6限に、1学年が「総合的な探究の時間」の集大成として、全体発表会を行いました。授業で外部講師としてお世話になった方々をお招きし、胎内市の人口減少や観光問題などについて、代表チームごとに課題解決方法などを発表しました。この1年間を通じて、生徒たちは胎内市への理解が深まり、自分なりに地域に貢献できる方法を見つけられたのではないかと思います。



編集後記

寮生活の取材は初めての試みでした！生徒たちは忙しい中でうまく時間を使い、楽しみを作りながら充実した生活を送っていることがよくわかりました。取材に協力してくれた生徒のみなさん、ありがとうございました！まだ取材できていないコースや部活動もあるので、今後も取材を続けていきたいと思えます！

【お問い合わせ】
〒959-2637 新潟県胎内市長橋上439-1
TEL：0254-44-3330
FAX：0254-44-6663
MAIL：info@kaishi-kokusai.ed.jp